



国際ロータリー会長 ロン D・バートン
 第2730地区ガバナー 大迫三郎
 鹿児島市内分区分ガバナー補佐 有村茂樹・飯野和男

第2730地区 鹿児島サザンウインドロータリークラブ

事務局・例会場 鹿児島東急イン
 〒890-0053 鹿児島市中央町5-1-9 F
 TEL 090-5295-2736
 FAX 099-251-5290
 例会日 毎週木曜日 12:30~13:30
 Eメール kswrc@po5.synapse.ne.jp

2013~2014年度
 会 長 庄司 教克
 会長エレクト 国師 博久
 幹 事 松藤いずみ
 編 集 会報・広報委員会
 H.P <http://www.ri2730.org/southern/>

第769回例会 2013年(平成25年)9月12日(木) 本日のプログラム「会員卓話 平田雅君・小林君・森政君」

Vol. 18-10

前回第768回例会(9/5(木))の報告 於:東急イン

【会長アドレス】会長 庄司教克

クラブ細則第3条第1節および第9条第3節により次々年度会長候補者の指名委員会を本日例会終了後に開催致します。今年度は奇数年度の会長経験者が委員となります。

さて今月は新世代のための月間となっております。今年度、規定審議会の制定により、奉仕部門の名称が新世代奉仕から青少年奉仕となりましたが、月間は従来のまま「新世代のための月間」であります。年齢30歳までの新世代の育成を支援するロータリー活動に焦点を当てる月間です。クラブと地区は、新世代の基本的ニーズ、すなわち健康、人間の価値、教育、自己開発を支援するプロジェクトに着手するよう要請されています。本田青少年奉仕委員長、また、地区青少年委員長の山田忠茂様、宜しくお願いたします。

ところで、ロータリーの友8月号「日本・トルコ友好の礎」をお読みにになりましたか。とても、感動的な記事でした。明治23年に、和歌山県串本町沖で沈没したトルコの軍艦エルトゥールル号の遭難事件です。トルコでは社会科の教科書に必ず紹介されている有名な事件で120年の時代を経た今もトルコ国民に伝えられているそうです。600人を超える大使節団を乗せて横浜からの帰り、台風で座礁、そして蒸気爆発を起こして沈没。この遭難事件で生還した人はわずか69名。遭難を知った地元住民は夜を徹して生存者の救助と手当てに尽力しました。島民は、非常食として飼っていたニワトリなどの食料や、浴衣などの衣類を持ち寄り、遭難者たちに分け与えたと云います。その後、生存者を日本の軍艦でトルコ・イスタンブールまで送り届けられたそうです。また、遭難事件から95年経ってイラン・イラク戦争が起きました。各国は軍用機や民間機のチャーター便を派遣して自国民の保護に努めたが、日本は自衛隊を海外派遣できないうゑに、民間機も安全性などの理由で飛ばず、日本人の保護ができない事態に至りました。そういった中、危険を

顧みずその取り残された日本人215人の救出に向かったのはなんとトルコの飛行機2機とのことです。トルコ大使は「トルコ人なら誰でもエルトゥールル号遭難事件の際に受けた恩義を知っています。ご恩返しをさせていただきます。」と語ったそうです。このエルトゥールル号の遭難は、たまたま串本で起こったのですが、今から120年前の明治時代の気骨のある精神をもった日本人であるならば、どこの地域でこのようなことが起こったとしても、同じような行為、行動をとっているのではないのでしょうか。そのDNAは必ず受け継いでいるのですが、そのDNAを発揮できていないのが、今なのではないのでしょうか。発揮するためには、教育が必要であり、また、このような偉業を伝えていく行為が必要ではないかと思う、と串本町長の田嶋さんは言うておられます。

世界中から絶賛された東日本大震災での日本人の行動。他人を思いやる、みんなで支えあう、感謝しながら生きるとか、家族、社員同士の絆とか、そういった目に見えない日本人のDNAを次代を担う青少年に語り継いでいくことも私たちの役目なのかもしれません。

【会務報告】幹事 松藤いずみ

- ①ロータリーの友、ガバナー月信をお取り下さい。
- ②来週例会後、定例理事会を行います。
- ③米山梅吉記念館館報と「会津の里にこらんしょ」・日韓親善会議の案内を回覧します。

【ゲスト】(卓話者)地区青少年委員会 委員長

山田忠茂様(鹿児島東南RC)
 青少年交換留学生 小宮福太郎君
 鹿児島東南RC事務局 今別府さえ子さん

【ロータリー財団寄付目標達成者】9/5

赤塚晴彦君・穂満 淳君・池田耕夫君・松田圭治郎君
 森山隆治君・田中一久君・柳橋國博君

【ゴメンナサイBOX】

◆高良次男君

先週はひさしぶりに忙しくて欠席でした。ゴメン。
 《ゴメンナサイBOX累計額 ¥6,000-》

2013~2014年度 国際ロータリーのテーマ 「ロータリーを 実践し みんなに豊かな人生を」

クラブテーマ 「ロータリーを学び、奉仕の心を高めよう！」

【ニコニコBOX】

◆山田忠茂君（鹿児島東南RC）

昨年度は松田泉様大変お世話になりました。サザン様にはガバナー補佐問題心より御礼申し上げます。サザンRCに足を向け寝ておりません。

◆庄司教克君

山田さん、お忙しい中有難うございます。今別府さん、小宮君も宜しくお願い致します。

《ニコニコBOX累計額 ￥111,000-》

【プログラム】 青少年奉仕委員会担当

地区青少年委員会 委員長 山田忠茂様卓話

◎福島キッズin宮崎・鹿児島実施報告

期日：2013年8月18日（日）～22日（木）4泊5日

招待者：小学4～6年生 31名

引率者：ボランティア2名、ローアクト1名、川内村教育委員会職員1名 合計35名

担当委員会：奉仕プロジェクト部門 古木圭介
地区青少年委員会 山田忠茂

ホストRC：日向RC・宮崎RC

実施地域：日向市・宮崎市・綾町

支援企業・団体・RC 51社・団体・個人

費用：2,755,978円（地区負担 2,520,978円）9/5現在

プロジェクトの経緯

東日本大震災が2011年3月11日に発生。同時に福島原発1号機の事故も発生し、現場から20km圏内は警戒地域となり住民は避難を余儀なくされました。川内村の一部も警戒地域になり川内村住民の多くが各地に避難しました。川内小学校に通っていた児童たちも親と共に各地にばらばらになってしまいました。

伊藤ガバナー年度で原発事故が発生し、支援のための募金活動が開始されました。長峯ガバナー年度に活動は引き継がれ、福島県の第2530地区との交流が始まりました。そして、川内村のばらばらになってしまった小学生たちを夏休み短期間でも一緒に過ごさせる企画が生まれました。その計画は山下ガバナー年度にも引き継がれ2012年8月開催、そして大迫ガバナー年度でも開催することができました。また、この計画は田中ガバナー・エレクトにも引き継がれることになっており、来年度も地区の奉仕活動として実施される予定です。

子供達は、この5日間大いに語り合い、初めての土地を楽しみ、心身ともにのびのびと過ごしたようです。大きな災害や事故に対する支援としては小さな力かもしれませんが、未来ある子供たちの絆を育み、将来の日本を背負う若者たちを支援するものとなると確信しています。



このプロジェクトを通して思ったのは、新世代のニーズを確認しながらやっていかないといけない、ということです。



青少年交換留学生として2012年8月～2013年7月までカナダに留学しました。言葉が話せるということの大切さと言葉が通じなくてもスポーツで気持ちを通わせることができることを知りました。また、コミュニケーションを取りたくても言葉の壁に阻まれ悔しい思いをしたことで言葉の通じる環境の日本で人と積極的に話そうとしていなかった自分がとてももったいないことをしていたことに気が付きました。」小宮福太郎君（上）
鹿児島東南RC事務局の今別府さえ子さん（下）

ガバナー月信9月号の表紙を当クラブの全女性会員が飾っています！（庄司会長）
食事前のコメントの福石会員

次回（第770回）例会のお知らせ

期日：H25年9月19日（木）12：30～13：30

場所：東急イン2F

プログラム：ゲスト卓話 鹿児島大学教育学部4年生 松元愛依様「ミニコンサート～歌曲の旅」

*ゲストデーです。友人・知人を例会にお誘い下さい。（ゲスト数は、9/17（火）事務局迄）

出席報告

例会日	会員数	出席数	出席率%
第768回9月5日（木）	47	35	74.47
第766回8月22日（木）訂正	47	41	87.23

市内他RC例会プログラム

★は記帳受付有り

（ホムクラブ 例会場）

- 鹿児島RC 9/13（金）会員卓話 伊藤学而会員 （山形屋）
- 中央RC 9/16（月）祝日休会 （山形屋）
- 東南RC 9/17（火）外部卓話 江良喜代子様 （サロヤル）
- 城西RC ★9/17（火）創立記念例会18：30～ （東急イン）
- 南RC ★9/18（水）観月会（城山） （サロヤル）
- 西RC ★9/18（水）観月会（ウエスト）18：30～ （山形屋）
- 西南RC 9/18（水）会員卓話 （ゆうづき）
- 東RC 9/19（木）新入会員卓話 （山形屋）
- 北RC 9/19（木）会員卓話 田中健二さん （レゾラント軒）